

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.44

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その44[2013年4月21日]

雨模様の東京を発った新幹線が新白河駅を過ぎたところで、天気が雨から雪に代わった。東北道は白河の関を過ぎると奥州路に入る。4月21日、晩春の雪である。郡山、福島と北上するにつれ積雪が増してゆく。午前9時37分、我々の乗車した東北新幹線はやて103号は雪の仙台駅に滑り込んだ。ここから石巻に向けてレンタカーを走らせるが、三陸自動車道路は雪雪雪そして雪、純白の世界である。山間の桜が満開なのだが、これに牡丹雪が降り積る。まことに稀有な景色に、おもわず句心が刺激された。「満開の桜に雪や奥州路(酒肴)」

さてこの日の指導スタッフは、いつもの我々二人に、船橋市から高橋直子さんが加わった。高橋さんは私塾ネットの仲間で、出前寺子屋発足時からの後援者のひとりである。昨年長男を出産されたばかりで、現地での活動ができなかったのだが、今回念願の初参加である。これに仙台から東北大学の米澤光也くん、高橋晴香さんが合流した。

雪の石巻に入る。高橋直子さんが初訪問ということで、津波被災地の南浜地区から門脇小学校へ車を進ませる。2年を経て今なお廃墟のままの小学校は、すっかり雪景色である。いくらか時間に余裕があったので、女川町まで足を延ばすことにした。女川はさすがに海に面した港町である、雪は雨に代わっていた。



雪の門脇小学校を背景に、左から高橋直子さんと谷村和枝

12時50分、寺子屋会場の開設ささえあい拠点センター集会所に入る。すでに佐久間先生が教室作りにとりかかっておられる。ここでこの日の支援メンバー6名がそろった。プロ塾講師としての力量も高い高橋直子さんが加わって、重厚な指導スタッフの布陣である。

ところで今回の漢検講座での留意点は、第1回漢検受検者の申込みの確定である。寺子屋会場で2級1名、3級3名、4級2名、6級1名計7名および本会場での準1級受検者2名が確定した。検定日は寺子屋会場の2級～6級は6月1日、本会場での準1級は6月30日である。ちなみにこの日の参加者は、漢検講座19名、英検講座13名計32名(重複あり)とスタッフは6名であった。

報告:谷村志厚

午後1時30分、前半の英検勉強会が始まる。風邪気味の米澤くんがマスクをして不定詞・動名詞・分詞の英文法領域を準2級講座で指導する。別のコーナーではW高橋さんのペアーが、5級講座で中学1年生3人に初級英語の領域を個別に指導する。

私(谷村和枝)は、本日の季節はずれの降雪で剣道部の部活動が停止になり、ラッキーにも出前寺子屋に出席できた高校1年生のEくんは英検3級2次試験対策の授業を試みる。剣道2段で、中学時代は試合の時に大将を務めていたEくんは礼儀正しい対応で5つの質問に英語で答えていく。Eくんは自宅学習用のテキストとCDを貸し、次に、私は自学自習中の2人の受講者に風化させてはならない震災体験や、多くの場合は困難な状況下で暮らす近況の聞き取りを開始する。

1人目は、この3月に寺子屋受講生でもある2人の娘さんがそれぞれ希望の大学と高校に合格して、今、ようやく心の落ち着きを取り戻して、自分の漢検準1級の学習を再開したHさんである。Hさんは震災直後からの6カ月間を振り返り、「私の実家に家族全員で厄介になり、6カ月の間、小さな平屋の家に11人が暮らしていました。2人の娘は受験勉強どころではなく、どちらも2年生で勉強が大事な時に、勉強ができなくても我慢をさせました。2人は我慢をしてくれました」と語る。

この話を聞き、被災地に通う身としては反省が湧きおこる。今を見て、復興が遅い等の現況だけに対処しようとしてしまうが、少し前にさかのぼり、更には石巻の江戸時代の繁栄にまでさかのぼり、考えて行動していかなければならないと。そうでなければ、復興に繋がらないと。

聞き取りの2人目は漢検準1級と英検4級を、還暦を迎えた今年、学習しているAさんである。英語の勉強を数十年ぶりに再開した理由を次のように語る。「震災の後、外国の人が東松島にも支援に来てくれたけれど、お礼に『サンキュー』しか言えなかった。感謝の言葉をもう少し他の

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日
 第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日
 第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日
 第Ⅳ期 2012年11月24日～2013年2月23日
 第Ⅴ期 2013年3月10日～6月8日

①スクーリングの実績と予定(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日、10月7日、13日、21日、11月10日、25日、12月9日、23日、2013年1月13日、26日、2月9日、24日、3月10日、24日、4月7日、21日、5月12日、6月1日、16日

②会場 仮設開設ささえあい拠点センター集会所

③検定受検(第Ⅴ期)

平成25年度第1回英検 2013年6月8日

平成25年度第1回漢検 2013年6月1日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

英語で言いたい、そう思って英語の勉強をまた始めたんです。」被災はマイナスの側面だけを人々にもたらすわけではない。自分や地域が世界とつながっていることを気づかせてくれる側面もあるのである。

さて、後半の学習が2時50分に始まる。佐久間先生が指導をする漢検の自学自習と、英検4級講座、及び個別指導



高橋直子さんによる4級講座授業風景。受講生は中学生4名に一般女性1名である

の英検3・4級学習である。英検学習はW高橋さんがそれぞれを担当し、70分間の学習が行われ、午後4時、桜の花びらに降る雪も止み、薄日がさしてきた頃に本日の寺子屋学習は全てが終了した。花見と雪見が同時にできた石巻の1日が終わり、我々も家路についた。

次回の寺子屋は母の日、5月12日の開催である。心の安らぎイベントとしてカーネーションのアレンジメントを予定している。 報告:谷村和枝

過去4回の漢字検定実績・68名受検中合格者56名
 2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-6名、5級-6名、
 6級-3名、7級-2名 (小中学生19名、一般37名)

英語検定実績・13名受検中合格者12名
 準2級-1名、3級-4名(準2・3級とも1.2次完全合格者)
 4級-4名、5級-3名 (小中高生9名、一般3名)

ご支援ありがとうございます

当活動は活動参加者個人の負担と、ご援助をいただく皆さんの浄財で運営しています。第Ⅲ期活動からは日本キリスト教協議会・震災対策室および東北ヘルプ(第Ⅱ期から継続)から活動資金支援をいただいています。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
 後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
 支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)